



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社
コード番号 2607 URL <http://www.fujioilholdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 洋史

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 隈部 博史

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

TEL 06-6459-0701

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	214,413	6.4	12,632	16.8	10,406	△2.7	6,386	△14.1
27年3月期第3四半期	201,568	7.1	10,810	△11.0	10,696	△9.3	7,435	11.3

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 △64百万円 (△100.5%) 27年3月期第3四半期 12,245百万円 (0.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	74.29	—
27年3月期第3四半期	86.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	277,024	147,993	51.4	1,657.12
27年3月期	223,625	150,813	65.1	1,693.76

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 142,444百万円 27年3月期 145,595百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
28年3月期	—	17.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	10.3	16,000	12.6	14,400	7.4	9,500	1.8	110.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) FUJI OLEOS AMERICA DO SUL IMPO
RTACAO, SERVICOS E COMERCIO D
E PRODUTOS ALIMENTICIOS E PAR 、除外 1社 (社名)
TICIPACOES LTDA.

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会社方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	87,569,383 株	27年3月期	87,569,383 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	1,609,839 株	27年3月期	1,609,599 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	85,959,651 株	27年3月期3Q	85,959,954 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による金融・財政政策の効果を背景にして穏やかな回復基調が続いております。海外経済は穏やかに回復傾向ではあるものの、中国や新興国を中心とした経済成長の鈍化などにより、世界的な景気の減速懸念が広がり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く国内食品業界では、円安状態の継続により原材料価格が高止まりし、依然として厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループはローリング中期経営計画「ルネサンス不二2017」（2015年4月～2018年3月）において、「グローバル経営の推進・加速」「技術経営の推進・加速」「サステナブル経営の推進・加速」を基本方針として、成長戦略、収益構造改革、サプライチェーンの構築により事業体質の強化を図り、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は2,144億13百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は126億32百万円（前年同期比16.8%増）、経常利益は104億6百万円（前年同期比2.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は63億86百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、フライ油・製菓用油脂などのヤシ油・パーム油・チョコレート用油脂の販売数量が増加したこと等により増収となりました。

海外では、主に米州での販売が伸長したことや、円安による円換算額の増加も寄与し、増収となりました。利益面では、アジアでの増益貢献により、海外全体で増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は815億83百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益（営業利益）は46億62百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、チョコレートは主にスイートチョコレート類が伸長したことにより増収、クリーム・調製品は減収、マーガリン・ショートニング・フィリング類は増収となり、国内全体では増収となりました。利益面では、原材料価格の上昇の中、販売の伸長および販売価格改定の効果により、増益となりました。

海外では、チョコレート・クリーム・マーガリン・フィリング類が順調に伸長したことにより増収となりました。利益面では、ブラジルの連結子会社ハラルド社の株式取得関連費用を計上したことによる経費増加があり、減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は1,019億72百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益（営業利益）は68億85百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、食肉・水産向けが減少しましたが、健康食品・惣菜・加工食品向けが伸長し増収となりました。大豆たん白機能剤は、飲料用途が伸長し増収となりました。大豆たん白食品は、即席麺・給食・水産市場向けが減収となりました。豆乳は、豆乳飲料などが順調に推移し増収となりました。これにより当部門全体は増収となりました。利益面では、販売の伸長による利益増加や経費削減等により、増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は308億57百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益（営業利益）は10億84百万円（前年同期比220.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ533億99百万円増加し、2,770億24百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の増加110億円、受取手形及び売掛金の増加116億3百万円、有形固定資産の増加41億27百万円、のれんの増加181億62百万円等であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、ブラジルの連結子会社ハラルド社の株式取得に伴う借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ425億80百万円増加し、721億47百万円となりました。

主な純資産の変動は、利益剰余金の増加34億53百万円、為替換算調整勘定の減少64億円、その他有価証券評価差額金の増加2億64百万円であります。

この結果、自己資本比率は51.4%、1株当たり純資産は1,657円12銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ110億31百万円増加、前第3四半期連結累計期間末に比べ99億99百万円増加し、237億47百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で35億85百万円増加し、63億91百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益104億26百万円、減価償却費70億47百万円、仕入債務の増加額31億4百万円等による収入が、売上債権の増加額103億98百万円、たな卸資産の増加額13億76百万円、法人税等の支払額21億9百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で229億43百万円支出が増加し、298億44百万円の支出となりました。これは主に、ブラジルの連結子会社ハラルド社等の子会社株式の取得による支出173億55百万円、預け金の預入による支出38億5百万円、有形固定資産の取得による支出79億70百万円、投資有価証券の取得による支出12億79百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で340億69百万円増加し、370億58百万円の収入となりました。これは主に、ブラジルの連結子会社ハラルド社の株式取得等の為に調達した長期借入れによる収入228億14百万円、短期借入金の純増加額164億42百万円、社債の発行による収入100億円等の収入が、社債の償還による支出50億円、コマーシャル・ペーパーの純減少額20億円、配当金の支払額29億22百万円、長期借入金の返済による支出17億94百万円等による支出を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月6日発表の通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

FUJI ÓLEOS AMÉRICA DO SUL IMPORTAÇÃO, SERVIÇOS E COMÉRCIO DE PRODUTOS ALIMENTÍCIOS E PARTICIPAÇÕES LTDA. は、当社グループにおける重要性が増したため第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。

また、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。

加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用若しくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

また、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しについては、企業結合会計基準第58-2項(1)なお書き、四半期財務諸表に関する会計基準第28-13項及び同適用指針第81-7項に定める経過的な扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合から適用しております。

なお、四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結財務諸表等におけるキャッシュ・フロー計算書の作成に関する実務指針第26-4項に定める経過的な取扱いに従っており、比較情報の組替えは行っておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は496百万円減少しております。

また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が21百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,789	23,789
受取手形及び売掛金	54,565	66,168
商品及び製品	21,868	23,087
原材料及び貯蔵品	23,290	23,707
繰延税金資産	1,186	1,201
その他	4,948	6,327
貸倒引当金	△92	△202
流動資産合計	118,556	144,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,820	31,370
機械装置及び運搬具(純額)	30,284	33,783
土地	15,987	15,541
建設仮勘定	5,350	3,532
その他(純額)	1,402	1,744
有形固定資産合計	81,845	85,972
無形固定資産		
のれん	-	18,162
その他	1,311	1,344
無形固定資産合計	1,311	19,507
投資その他の資産		
投資有価証券	17,283	18,792
退職給付に係る資産	1,074	1,663
繰延税金資産	414	622
その他	3,333	6,738
貸倒引当金	△193	△351
投資その他の資産合計	21,912	27,464
固定資産合計	105,069	132,945
資産合計	223,625	277,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,914	28,728
短期借入金	14,712	33,668
コマーシャル・ペーパー	2,000	-
1年内償還予定の社債	5,000	-
未払法人税等	1,469	2,624
賞与引当金	2,009	1,324
役員賞与引当金	58	2
その他	8,738	12,953
流動負債合計	57,902	79,301
固定負債		
社債	-	10,000
長期借入金	7,855	28,479
繰延税金負債	4,767	5,346
役員退職慰労引当金	32	34
退職給付に係る負債	1,668	1,800
その他	585	4,068
固定負債合計	14,909	49,729
負債合計	72,812	129,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,302
利益剰余金	103,467	106,920
自己株式	△1,747	△1,747
株主資本合計	133,253	136,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,728	6,992
繰延ヘッジ損益	479	△153
為替換算調整勘定	5,716	△684
退職給付に係る調整累計額	△583	△392
その他の包括利益累計額合計	12,341	5,761
非支配株主持分	5,218	5,548
純資産合計	150,813	147,993
負債純資産合計	223,625	277,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	201,568	214,413
売上原価	166,362	172,262
売上総利益	35,206	42,151
販売費及び一般管理費	24,395	29,519
営業利益	10,810	12,632
営業外収益		
受取配当金	201	228
その他	456	426
営業外収益合計	658	654
営業外費用		
支払利息	259	547
為替差損	-	1,423
持分法による投資損失	330	374
その他	182	534
営業外費用合計	773	2,880
経常利益	10,696	10,406
特別利益		
土地売却益	-	203
事業譲渡益	-	170
受取保険金	234	-
関係会社出資金売却益	39	-
特別利益合計	273	373
特別損失		
固定資産処分損	108	214
持株会社化関連費用	-	112
事務所移転費用	62	26
特別調査費用	109	-
特別損失合計	280	353
税金等調整前四半期純利益	10,688	10,426
法人税、住民税及び事業税	2,253	3,265
法人税等調整額	711	376
法人税等合計	2,965	3,641
四半期純利益	7,723	6,784
非支配株主に帰属する四半期純利益	288	398
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,435	6,386

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	7,723	6,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,810	263
繰延ヘッジ損益	1,041	△633
為替換算調整勘定	1,504	△6,538
退職給付に係る調整額	171	191
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△131
その他の包括利益合計	4,522	△6,848
四半期包括利益	12,245	△64
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,742	△194
非支配株主に係る四半期包括利益	503	130

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,688	10,426
減価償却費	6,332	7,047
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△477	△589
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	268	467
受取利息及び受取配当金	△269	△337
支払利息	259	547
事業譲渡損益(△は益)	-	△170
関係会社出資金売却損益(△は益)	△39	-
売上債権の増減額(△は増加)	△13,241	△10,398
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,832	△1,376
仕入債務の増減額(△は減少)	4,234	3,104
その他	193	△32
小計	6,116	8,688
利息及び配当金の受取額	269	331
利息の支払額	△242	△518
法人税等の支払額	△3,571	△2,109
保険金の受取額	234	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,806	6,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,411	△7,970
有形固定資産の売却による収入	-	651
投資有価証券の取得による支出	△9	△1,279
関連会社株式取得による支出	△535	△35
非連結子会社株式取得による支出	△114	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△17,355
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による支出	△33	-
事業譲渡による収入	-	170
預け金の預入による支出	-	△3,805
その他	△796	△220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,901	△29,844
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,736	16,442
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	-	△2,000
長期借入れによる収入	4,546	22,814
長期借入金の返済による支出	△2,629	△1,794
社債の発行による収入	-	10,000
社債の償還による支出	△10	△5,000
配当金の支払額	△2,234	△2,922
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△108
その他	△418	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,989	37,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	274	△2,598
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△830	11,007
現金及び現金同等物の期首残高	14,578	12,716
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	23
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,748	23,747

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	77,314	94,547	29,707	201,568	—	201,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,647	319	504	11,471	△11,471	—
計	87,961	94,867	30,211	213,040	△11,471	201,568
セグメント利益	4,165	6,305	338	10,810	—	10,810

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	132,351	38,783	15,925	14,507	201,568	—	201,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	22,508	299	88	22,946	△22,946	—
計	132,401	61,291	16,225	14,596	224,515	△22,946	201,568
セグメント利益	7,117	1,606	584	1,241	10,548	261	10,810

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ

米州：米国

欧州：ベルギー

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,583	101,972	30,857	214,413	—	214,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,093	447	488	12,029	△12,029	—
計	92,676	102,419	31,346	226,442	△12,029	214,413
セグメント利益	4,662	6,885	1,084	12,632	—	12,632

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	136,263	39,095	23,954	15,100	214,413	—	214,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	411	20,951	395	109	21,868	△21,868	—
計	136,675	60,046	24,350	15,209	236,282	△21,868	214,413
セグメント利益	9,117	2,986	△77	915	12,941	△309	12,632

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、
インドネシア、タイ
米州：米国、ブラジル
欧州：ベルギー

2016年3月期 第3四半期 決算補足資料

不二製油グループ本社株式会社

1

目次

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 連結 第3四半期業績 | 2. 連結 通期予想 |
| (1)連結 損益概要 | (1)連結 通期予想 |
| (2)連結 油脂部門損益 | (2)連結 セグメント別通期予想 |
| (3)連結 製菓・製パン素材部門損益 | (3)連結 地域別通期予想 |
| (4)連結 大豆たん白部門損益 | |
| (5)連結 地域別損益 | |
| (6)連結 四半期別営業利益推移 | |
| (7)連結 貸借対照表 | |
| (8)連結 キャッシュ・フロー | |
| (9)連結 指標 | |

※1：本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。
※2：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

1-(1) 連結 損益概要

(単位: 億円)

		14年度 Q3累計	15年度 Q3累計	対前期	
				増減額	増減率
売上高	油脂	773	816	+43	+5.5%
	製菓・製パン素材	945	1,020	+74	+7.9%
	大豆たん白	297	309	+12	+3.9%
	合計	2,016	2,144	+128	+6.4%
営業利益	油脂	42	47	+5	+11.9%
	製菓・製パン素材	63	69	+6	+9.2%
	大豆たん白	3	11	+7	+220.3%
	合計	108	126	+18	+16.8%
	営業利益率	5.4%	5.9%	+0.5p	—
経常利益		107	104	▲3	▲2.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益		74	64	▲10	▲14.1%
四半期包括利益		122	▲1	▲123	—

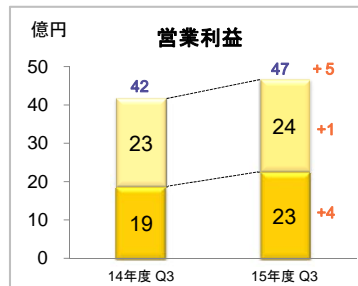
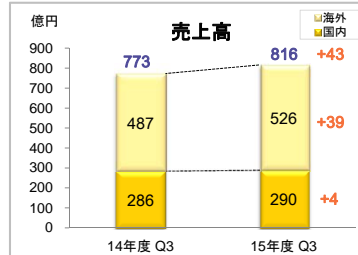
3

1-(2) 連結 油脂部門損益

	14年度 Q3累計	15年度 Q3累計	対前期	
			増減額	増減率
売上高	773	816	+43	+5.5%
営業利益	42	47	+5	+11.9%

業績サマリー

- **国内**
ヤシ油・パーム油・チョコレート用油脂の販売数量の増加等により増収・増益。
- **海外**
米州の販売が伸長したことや、円安による円換算額の増加も寄与し増収、利益面ではアジアでの増益貢献により増益。



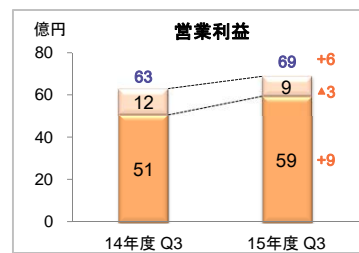
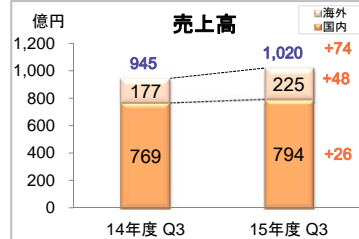
4

1-(3) 連結 製菓・製パン素材部門損益

	14年度 Q3累計	15年度 Q3累計	対前期	
			増減額	増減率
売上高	945	1,020	+74	+7.9%
営業利益	63	69	+6	+9.2%

業績サマリー

- **国内**
スイートチョコレート類の伸長、マーガリン・ショートニング・フィリング類の増収により全体では増収。利益面は販売の伸長および価格改定により増益。
- **海外**
チョコレート・クリーム・マーガリン・フィリング類が順調に伸長し増収。利益面はブラジルの連結子会社ハラルド社の株式取得関連費用の計上を行ったこと等により減益。



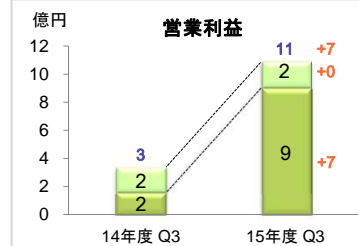
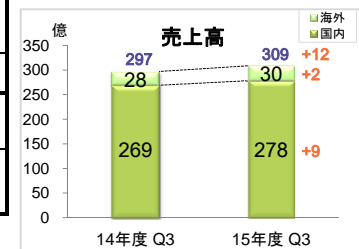
5

1-(4) 連結 大豆たん白部門損益

	14年度 Q3累計	15年度 Q3累計	対前期	
			増減額	増減率
売上高	297	309	+12	+3.9%
営業利益	3	11	+7	+220.3%

業績サマリー

- **大豆たん白素材**
食肉・水産向けが減少するも、健康食品・惣菜・加工食品向けが伸長し増収。
- **大豆たん白機能剤**
飲料用途が伸長し増収。
- **豆乳**
豆乳飲料などが順調に推移し増収。
- **部門全体**
販売の伸長による増収・増益に加え、経費削減等により増益。



6

1-(5) 連結 地域別損益

(単位:億円)

		14年度 Q3累計	15年度 Q3累計	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	1,324	1,363	+39	+3.0%
	アジア	388	391	+3	+0.8%
	欧米	304	391	+86	+28.3%
	合計	2,016	2,144	+128	+6.4%
営業利益	日本	71	91	+20	+28.1%
	アジア	16	30	+14	+85.9%
	欧米	18	8	▲10	▲54.1%
	消去	3	▲3	▲6	—
	合計	108	126	+18	+16.8%

〔業績サマリー〕

日 本: 油脂・製菓製パン素材・大豆たん白の販売の伸長により増収・増益。

アジア: チョコレート・クリーム・マーガリンの販売が増加し増益。

欧 米: ハラルド社の株式取得関連費用計上による経費増加等により減益。

7

1-(6) 連結 四半期別営業利益推移

(単位:億円)

	第1Q (3カ月)	対前年 同期	第2Q (3カ月)	対前年 同期	第3Q (3カ月)	対前年 同期	第3Q 累計	対前年 同期
油脂	9	▲3	13	▲2	24	+9	47	+5
製菓・製パン素材	14	▲7	22	+8	33	+5	69	+6
大豆たん白	2	▲0	4	+3	5	+4	11	+7
合計	25	▲10	39	+10	62	+18	126	+18

	第1Q (3カ月)	対前年 同期	第2Q (3カ月)	対前年 同期	第3Q (3カ月)	対前年 同期	第3Q 累計	対前年 同期
日本	18	▲3	25	+9	48	+14	91	+20
アジア	11	+4	11	+4	9	+7	30	+14
欧米	▲0	▲6	4	▲1	5	▲3	8	▲10
消去	▲4	▲4	▲1	▲1	+1	▲0	▲3	▲6
合計	25	▲10	39	+10	62	+18	126	+18

8

1-(7) 連結 貸借対照表

(単位:億円)

	14年度 期末	15年度 Q3末	対前期末	主な増減要因
流動資産	1,186	1,441	+255	ハラルド新規連結による資産取込等。
固定資産	1,051	1,329	+279	ハラルド新規連結によるのれんの計上及び資産取込等。
資産合計	2,236	2,770	+534	
有利子負債	296	721	+426	ハラルド取得による借入金の増加等。
その他負債	432	569	+136	
負債合計	728	1,290	+562	
純資産合計	1,508	1,480	▲28	利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少等。

9

1-(8) 連結 キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	14年度Q3累計	15年度Q3累計	対前期
税引前四半期純利益	107	104	▲3
減価償却費	63	70	+7
他増減	▲142	▲111	+31
営業キャッシュ・フロー	28	64	+36
投資キャッシュ・フロー	▲69	▲298	▲229
フリー・キャッシュ・フロー	▲41	▲235	▲194
借入金等による調達・返済	56	405	+348
配当支払・自己株取得等	▲27	▲34	▲8
財務キャッシュ・フロー	30	371	+341
現金及び現金同等物増減	換算差額含む ▲8	換算差額含む 110	+118
新規連結に伴う増減	—	0	+0
現金及び現金同等物期末残高	137	237	+100

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

10

1-(9) 連結指標

(単位:億円)

	12通期	13Q3累計	13通期	14Q3累計	14通期	15Q3累計
設備投資額	65	40	61	79	112	96
減価償却費	81	62	83	60	82	67
有利子負債	370	349	289	349	296	721
純資産(少持除く)	1,154	1,245	1,281	1,391	1,456	1,424
1株当たり純資産	1,342円	1,448円	1,490円	1,618円	1,694円	1,657円
総資産	1,971	2,041	2,022	2,264	2,236	2,770
自己資本比率	58.5%	61.0%	63.3%	61.5%	65.1%	51.4
D/Eレシオ	0.32	0.28	0.23	0.25	0.20	0.51
ROE	7.6%	7.4%	6.7%	7.4%	6.8%	5.9%
ROA	7.3%	7.8%	7.4%	6.7%	6.3%	5.5%

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。
 ・純資産は少数株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。
 ・D/Eレシオ=有利子負債÷純資産(少数株主持分除く)
 ・ROE=当期純利益÷純資産(Q3指標は、年換算しています。)
 ・ROA=経常利益÷総資産(Q3指標は、年換算しています。)

11

2-(1) 連結通期予想

(単位:億円)

	14Q3 累計	14通期	15Q3 累計	対前年 同期	15通期 予想	対前年 同期
売上高	2,016	2,719	2,144	+128	3,000	+281
営業利益	108	142	126	+18	160	+18
経常利益	107	134	104	▲3	144	+10
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	74	93	64	▲10	95	+2

12

2-(2) 連結 セグメント別通期予想

(単位:億円)

		14Q3 累計	14通期	15Q3 累計	対前年 同期	15通期 予想	対前年 同期
売上高	油脂	773	1,048	816	+43	1,124	+75
	製菓・製パン素材	945	1,276	1,020	+74	1,461	+184
	大豆たん白	297	394	309	+12	416	+22
	合計	2,016	2,719	2,144	+128	3,000	+281
営業利益	油脂	42	53	47	+5	53	+0
	製菓・製パン素材	63	87	69	+6	98	+11
	大豆たん白	3	2	11	+7	9	+7
	合計	108	142	126	+18	160	+18

13

2-(3) 連結 地域別通期予想

(単位:億円)

		14Q3 累計	14通期	15Q3 累計	対前年 同期	15通期 予想	対前年 同期
売上高	日本	1,324	1,761	1,363	+39	1,848	+87
	アジア	388	547	391	+3	585	+38
	欧米	304	411	391	+86	567	+156
	合計	2,016	2,719	2,144	+128	3,000	+281
営業利益	日本	71	94	91	+20	107	+13
	アジア	16	24	30	+14	42	+18
	欧米	18	22	8	▲10	14	▲8
	消去	3	2	▲3	▲6	▲2	▲5
	合計	108	142	126	+18	160	+18

14